

高効率全熱交換換気ユニット

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。

ご留意いただくとともに、大切に保管してください。

目次

■ 重要なお知らせ	1
■ 警告用語の種類と意味	2
■ 特にご注意くださいこと	2~3
警告	2
注意	3
お願い	3
■ 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	3
■ 各部の名称とはたらき	4
■ 操作方法	5
■ お手入れのしかた	6~8
■ 故障時の処置	9
■ アフターメンテナンスについて	10
■ 保証書	11

重要なお知らせ

ご使用前に

● 安全のために、必ずお守りください。

「高効率全熱交換換気ユニット」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。

もし、この取扱い説明書にしたがわず、乱用または誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売店・工事店に責任はないものといたします。

1. この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。したがって、「高効率全熱交換換気ユニット」のご使用および、お手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
2. この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
3. 商品のお問合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。



問合わせ事項	連絡先	TEL
商品全般	お客さま相談センター	☎ 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	☎ 0120-413-433
フィルターの購入はこちら	LIXILパーツショップ または お客さま相談センター	ホームページ http://partsshop.lixil.co.jp/shop/ ☎ 0120-126-001

4. 設計・取付けに関するお問い合わせは、販売店または工事店までご連絡ください。

警告用語の種類と意味

※この章では、「高効率全熱交換換気ユニット」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

●この取扱い説明書では、危険度の高さ（又は事故の大きさ）にしたがって、次の3段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

警告用語	意味
 警告	取扱いを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示にしたがわないと機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

特にご注意ください

(安全のため、必ずお守りください)

警告

- 絶対に分解修理・改造を行わないでください。
火災、感電、ケガの原因になります。
- ※修理のご依頼は「当社修理受付センター」に、
商品に関するお問合せは「当社お客さま相談センター」へご相談ください。
- 直接水やお湯、洗剤などをかけたりしないでください。
感電やショートするおそれがあります。
- お手入れは、本体の電源スイッチ又は分電盤のブレーカーを切り、運転が停止してから行ってください。
※電源スイッチ又はブレーカーの入り切りはぬれた手で行わないでください。
感電やケガをするおそれがあります。
- 電源線を破損させるようなことはしないでください。
傷んだまま使用すると感電、ショート、火災の原因になります。
- 電源線を引っばらないでください。
電源線が接続不良になると火災の原因になります。

⚠ 注 意

- 運転中は羽根の中に指や物を入れないでください。
ケガをするおそれがあります。
- お手入れの際は、足元が不安定な台に乗らないでください。
転倒などによりケガをするおそれがあります。
- お手入れの際は、ゴム手袋をお使いください。
突起や角などによりケガをするおそれがあります。
- お手入れ後、部品は元どおりに取付けてください。
落下によりケガをするおそれがあります。
- お手入れ後は、すみやかに運転を再開してください。
※ 365日・24時間運転が原則です。
停止したままだと、室内の空気の汚れや結露の原因になります。
- フィルターは定期的に清掃を行ってください。
清掃をおこたると、室内の空気の汚れや結露の原因になります。
- 長期間使用しないときは、換気ユニット SE の電源スイッチ、または分電盤のブレーカーを切ってください。
(漏電や火災のおそれがあります。)

お願い

- 雷が発生したときは、本体の電源スイッチ又は分電盤のブレーカーを切ることをおすすめします。機械が故障するおそれがあります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。

【設計上の標準使用期間】10年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●「経年劣化とは」

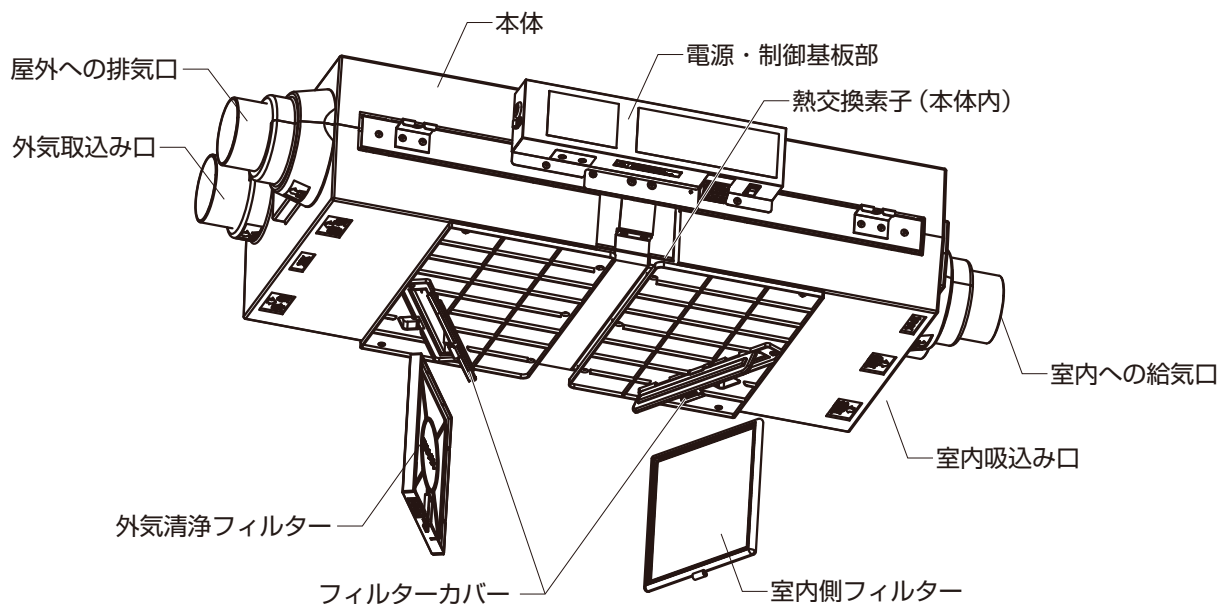
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件 日本電機工業会自主基準 HD-116-4による

環境条件	電圧	単相100Vまたは単相200V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hzまたは/および60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	機器の工事説明書による
負荷条件		定格負荷 (換気量)	機器の取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	常時換気 (24時間連続換気)8760時間/年	

各部の名称とはたらき

高効率全熱交換換気ユニット



※各出入り口はダクトホースに接続されています。

※カタログなどで記載されている「温度交換効率：85%」という表示は、本ユニットの試験成績（[83m³/h時] 84.7%～[159m³/h時] 74.9%）によるものです。（JIS B 8628に準拠）

【 外気取込み口 】

- 新鮮な空気をここから吸気します。

【 室内への給気口 】

- 吸気した外気を熱交換して室内温度・湿度に近づけた状態で、ここから給気します。

【 室内吸込み口 】

- 室内の汚れた空気をここから取込みます。

【 屋外への排気口 】

- 室内の汚れた空気をここから排気します。

【 熱交換素子 】

- 排気する室内空気の熱エネルギーをここで回収し、室内へ供給する空気に熱エネルギーを与えます。

【 外気清浄フィルター 】

- 取込む外気に含まれる粉塵、花粉などをこのフィルターで除去し、きれいな空気にします。

【 室内側フィルター 】

- 室内の空気に含まれるチリやホコリを除去し、機械内部を保護します。

【 電源・制御基板部 】

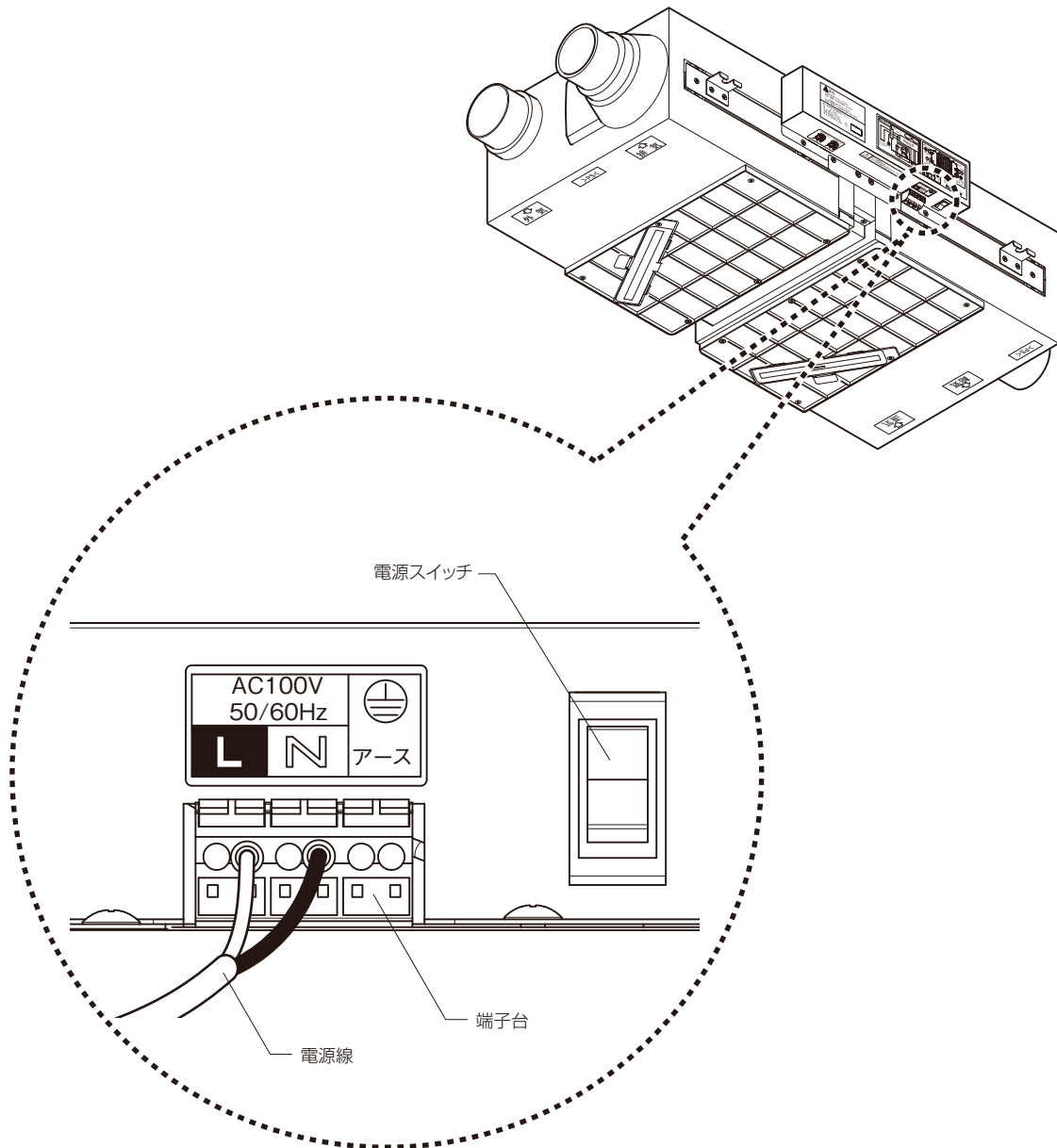
- 運転に必要な電気を供給し、ファンの円滑な回転を制御する部分です。

操作方法

※本製品は 365 日・24 時間運転が原則です。室内に新鮮な空気を供給するとともに、汚れた空気を屋外に排出するため、常に運転するようにしてください。

運転のしかた

- 運転を始めるには、ブレーカーを入れて本体の電源スイッチを ON にします。**
…電源スイッチが点灯し運転を始めます。
- 運転を停止するには、本体の電源スイッチを OFF にしブレーカーを切ります。**
…電源スイッチが消灯し運転を停止します。



※ブレーカーを入れて電源スイッチを ON にしているのに運転が停止している場合は、本体の故障・寿命が考えられます。その場合は、本説明書の『故障時の処置』にしたがってください。（特に激しい雷があった後は、運転音がしているかどうかを必ず確認してください。）

お手入れのしかた

- フィルターのお手入れは、2ヵ月に1度を目安に行ってください。
ただし、住み始めて2ヵ月間は、2週間に1回の清掃を行ってください。フィルターの交換は2年を目安に新しいフィルターと交換してください。
- お手入れは、電源スイッチまたはブレーカーを切ってから行ってください。
※電源線にぬれた手で触れないでください。
※電源線を引き抜かないでください。
- お手入れの際は、しっかりした台を足場に使用し、ゴム手袋を着用して、ケガのないよう気を付けて作業してください。

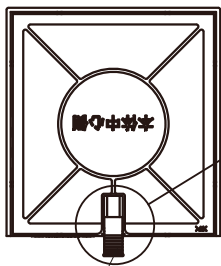
1

フィルターの取外し方

- ①本体が設置してある天井の点検口をあけてください。
- ②フィルターカバーのレバーをつまんでロックを外し、フィルター下面中央のタブを指でつまんで、外気清浄フィルターと室内側フィルターの2枚のフィルターをまっすぐ引き出してください。

※外気清浄フィルターのタブはフィルター枠に収納されていますので、フィルター枠から引き出してください。

外気清浄フィルター

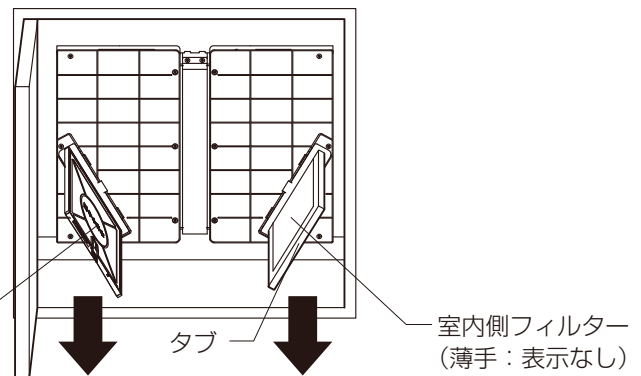
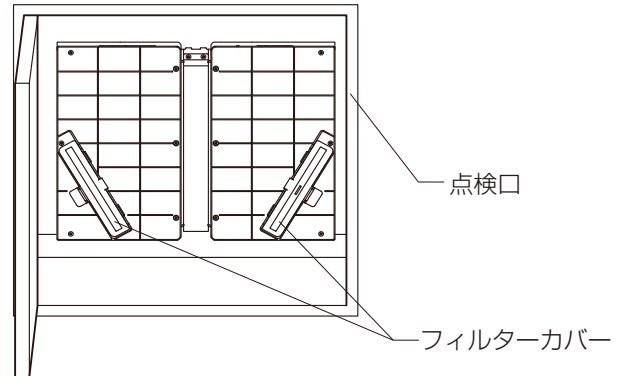


タブ



タブをフィルター枠から取り出してつまんでください

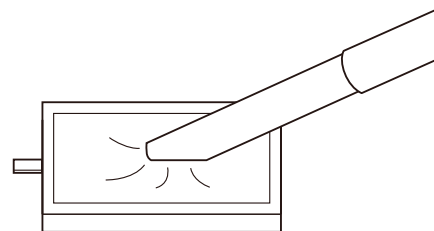
外気清浄フィルター
(厚手：本体中心側表示あり)



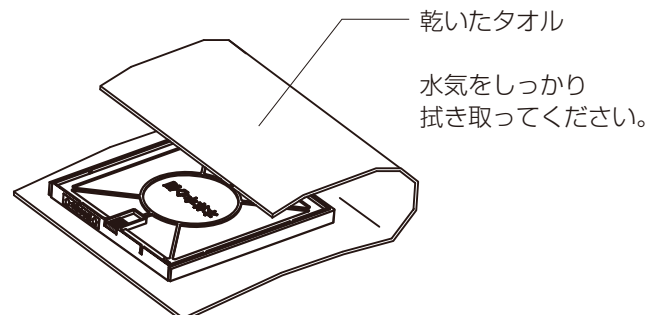
2

フィルターの清掃

- ①掃除機でフィルター両面のホコリを取り除いてください。
- ②フィルターは水洗いが可能です。
弱い水流で洗い流してください。
汚れが落ちない場合は中性洗剤を入れた水またはぬるま湯に浸して洗ってください。
水洗い後、水切りを行い乾いたタオルで全体を包むようにして水気を拭き取ります。
※フィルターの水洗いは外気温度が0℃以下の場合、凍結および結露し本体から水が滴下するおそれがありますので、水気をしっかり拭きとってください。
※外気清浄フィルター(樹脂枠)は分解しないでください。



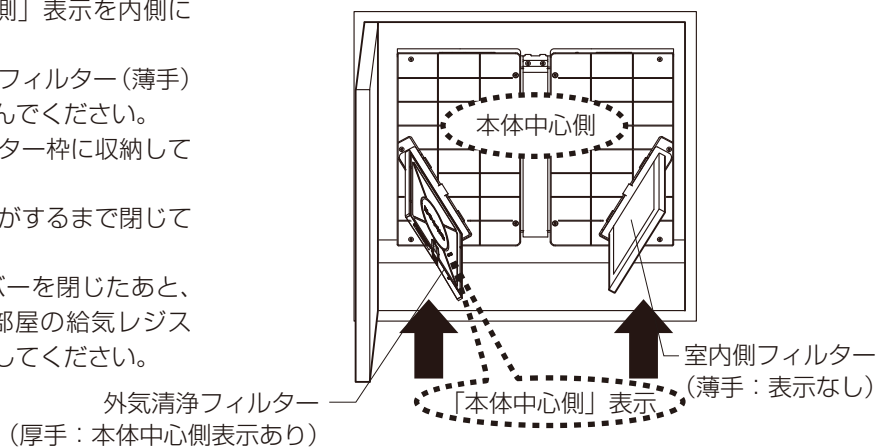
乾いたタオル



3

フィルターの取付け方

- ①フィルターカバーを開けて、フィルターを元の場所にまっすぐ奥までしっかり差込んでください。
外気清浄フィルターは、「本体中心側」表示を内側に向けて差込んでください。
※外気清浄フィルター（厚手）と室内側フィルター（薄手）を間違えないように元の位置に差込んでください。
※外気清浄フィルターのタブはフィルター枠に収納してください。
- ②フィルターカバーを「カチッ」と音がするまで閉じてください。
- ③フィルターを差込みフィルターカバーを閉じたあと、運転を開始して異常音がしないか部屋の給気レジスターから風が正常に出ているか確認してください。



お手入れ上のお願い

- 外気温が低下した場合、製品に水滴がついたり滴下する場合がありますが故障ではありません。
製品に付着した水滴は拭き取ってください。

〈PM2.5 対応フィルター（オプション）の交換のしかた〉

- PM2.5 対応フィルターは、取り込む外気に含まれる微小粒子（1.0～2.5 μ m）を 85% 以上捕集します。
- 外気の汚れが気になる時期に一時的なご使用をおすすめします。
- PM2.5 対応フィルターの交換は、約 4 ヶ月を目安とします。（使用環境により交換の時期は異なります。）

1

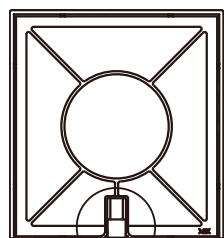
フィルターの取外し方

- ① 本体が設置してある天井点検口をあけてください。
- ② フィルターカバー（外気側※ 1）のレバーをつまんでロックを外し、フィルター下面中央のタブ（※ 2）を指でつかんで、「外気清浄フィルター」または「PM2.5 対応フィルター」をまっすぐ引き出してください。

※ 1 PM2.5 対応フィルターは、外気側にのみ装着する仕様になっております。交換の際は「外気側」のフィルターのみ取り出してください。

※ 2 フィルターのタブは「フィルター枠」に収納されていますので、フィルター枠から引き出してください。

外気清浄フィルターまたは、PM2.5 対応フィルター

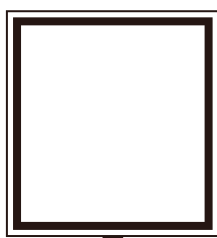


タブ

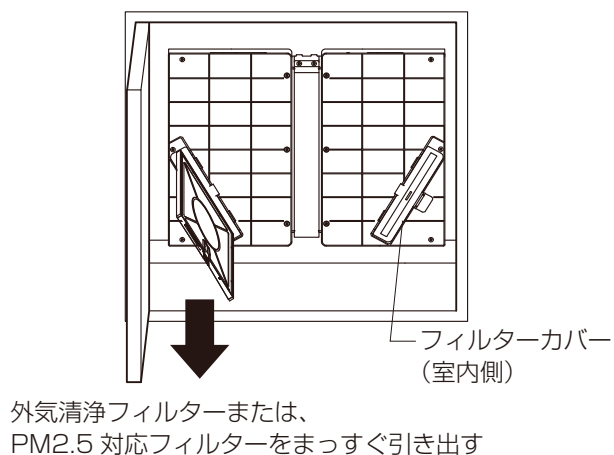
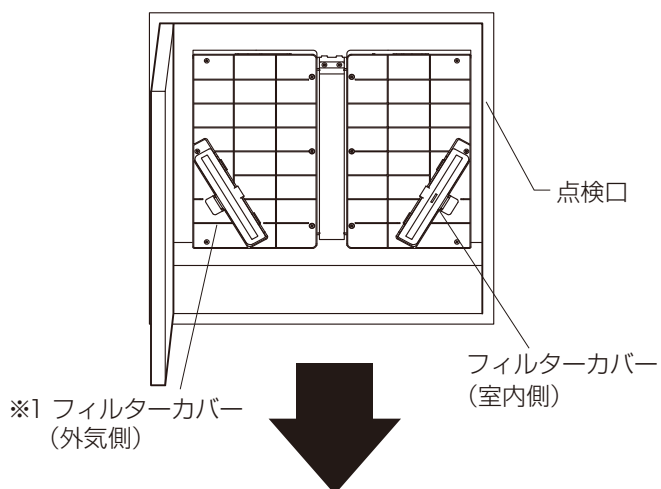


タブをフィルター枠から取り出してつまんでください

〈参考〉
室内側フィルター



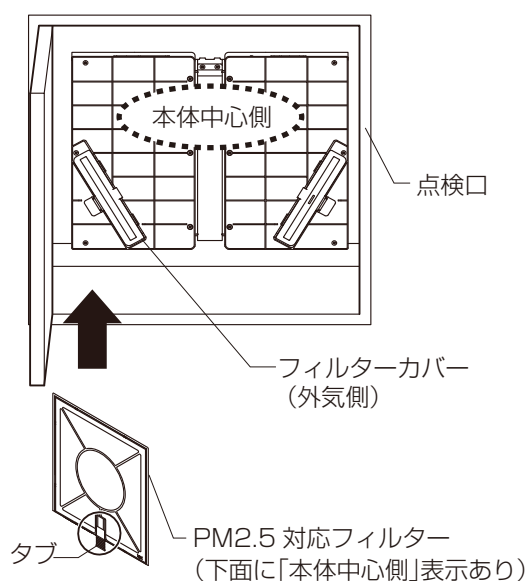
外観・形状が異なります



2

PM2.5 対応フィルターの取付け方

- ① フィルターカバー（外気側）を開けて、PM2.5 対応フィルターをまっすぐ奥まで差込んでください。PM2.5 対応フィルターは、フィルター下面の矢印が「本体中心側」に向くように差込んでください。
※ PM2.5 対応フィルターのタブはフィルター枠に収納してください。
- ② フィルターカバーを「カチッ」と音がするまで閉じてください。
- ③ フィルターを差込みフィルターカバーを閉じたあと、運転を開始して異常音がしないか部屋の給気レジスターから風が正常に出ているか確認してください。



お願い

- PM2.5 対応フィルターは、水洗いなどのお手入れをせず交換後（ご使用済み）のフィルターは、廃棄してください。

故障時の処置

こんな場合

ここをお調べ
ください

処置の仕方

運転が停止している。

ブレーカーが切れて
いませんか？

ブレーカーを入れて
ください。

電源スイッチが OFF
になっていませんか？

電源スイッチを入れて
ください。

運転しているのに空気
が出ていない。
空気を吸込んでいない。

フィルターが汚れて
目詰まりしていません
か？

フィルターを清掃して
ください。

故障時の処置の仕方に関
して、処置をしても効果が
ない場合、修理のご依頼は
当社修理受付センター
☎ 0120-413-433
に、
商品に関するお問合せは
当社お客さま相談センター
☎ 0120-126-001
へご相談ください。

アフターメンテナンスについて

修理を依頼される前に

点検および修理を依頼される前に、取扱説明書の「**■故障時の処置**」をご確認ください。

保証について

保証期間中は、保証の規程にしたがって修理をさせていただきます。
保証期間中でも有料になる場合がありますので「**■保証書**」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の「**取扱い説明書**」をもう一度ご確認くださいの上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①ご住所・お名前・電話番号
- ②商品名・品番
- ③ご購入日又はご入居日
※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
- ④故障又は異常の内容
- ⑤訪問ご希望日
- ⑥LIXIL修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

点検および修理の依頼先

- ・お求めの取扱い店
- ・製品に表示している連絡先
- ・LIXIL修理受付センター ☎ 0120-413-433

点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品代です。
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（機能を維持するために必要な部品・代替品含む）の最低保有期間は、製造終了後10年です。
※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。
リクシルパーツショップ <http://partsshop.lixil.co.jp/shop/>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎ 0120-126-001にご連絡ください。

保証書

- 1.保証者…………… 株式会社LIXIL
2.保証の対象者…………… 住宅の所有者
3.保証内容…………… 取扱い説明書・本体ラベルなどの注意書きに示されている通りの正常な使用状態で故障した場合、本書により保証いたします。

保証期間	対象品
1年	本体

- 4.免責内容…………… 保証期間内でも次の場合には有料になります。
- a) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害・異常電圧・その他の外部要因による故障・損傷および機能低下。
 - b) 当社が認めていない改造、不当な修理、調整による故障・損傷および機能低下。
 - c) 高温空気・炎・腐食物質の吸収による故障・損傷および機能低下。
 - d) 故障の原因が本体以外の部分にあって、それを点検・修理した場合。
 - e) その他、当社の責に帰さない理由により生じた故障・損傷および機能低下。

- 5.保証の起点…………… お買い上げ日

西 暦
年 月 日より

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

販売店 又は 工事店	住所・会社名
	電話 () -

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

- 旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117
-

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX.☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

- 商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL公式サイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記公式サイトからご確認ください。

取説番号	MAG-471E	事業所コード	TBZ8	2016.04.01 発行
------	----------	--------	------	---------------

